

まほろば秦野通信

平成28年7月28日

秦野市市長公室広報課

タイトル	山の日に子供の楽しい「居場所」がオープン “ベジタステーションはだの”
When (いつ)	8月11日(木曜・祝日) 申込みは8月9日(火曜日)まで
Where (どこで)	デイサービス コミュニティー「万年青(おもと)」(曾屋1338の1)
Who (だれが)	NPO法人 ライフサポート39丹沢 上智大学短期大学部 学生団体上智Jr. ボランティア 5人
What (なにを)	普段は高齢者デイサービスを行う介護保険施設において、学生ボランティアとの協働による、子供たちが「元気になれる居場所」をオープンします。“ベジタステーション”とは、ラテン語で「元気になれる場所」という意味です。
How (どのように)	会食や遊び、夏休みの宿題に取り組む時間を設けること等を通じて、「子どもの居場所・学習支援」の場を提供します。 当日は「山の日」のため、施設が提携する市内の畑で収穫した朝採れ野菜を使って、「山」をイメージした栄養たっぷりのカレーライス(丹沢カレー)を作り、山への感謝や自然豊かなふるさと秦野の理解を深めます。 参加費無料 小・中学生：20人(申込先着順)
Why (なぜ)	未来を担う子供が健やかに育成される環境をつくるため、いわゆる「子ども食堂」を実施する地域・自治体が増えています。 本市においても、市民団体等との協働により、子供の輝ける将来を見据えた見守り・支援体制を整えていこうとしていたなか、2つの団体から、事業の実施意向が示されたため、今回、実現するものです。なお、開催にあたっては、「貧困対策」を前面に出すと参加する子供が偏見を持たれかねないため、「子供が元気になれる場所」であることを強調しています。
How much (予算)	デイサービスを運営するNPO法人の負担による
過去の実績	市内初めての試みです。
今後の取り組み	団体においては、子供たちが充実した時間を過ごせるよう、様々な支援メニューを考案中です。NPO法人では、この居場所を通じて「食育」や「体験活動」にも重点を置いて取り組みたいとのこと。 今回の実施を広く周知し、他の市民団体においても「子供の居場所づくり」が活動内容に取り入れられることを期待しています。
問い合わせ	子ども健康部子育て支援課子育て政策担当 担当：杉山 電話0463(86)3460